特定漁港漁場整備事業　元稲府地区　事業概要図

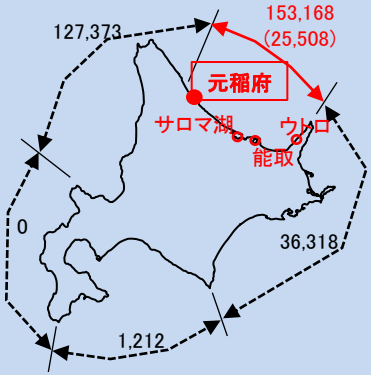
事業名：直轄特定漁港漁場整備事業
地区名：元稲府地区（北海道雄武町）
漁港名：元稲府漁港（第４種）

要求理由：
〇地区の概要
　北海道北東部，オホーツク海沿岸中北部に位置し，ホタテガイを中心とした水産物流通拠点漁港，オホーツク海域の避難拠点漁港.
〇事業の目的
　安全・安心な水産物の安定的な国内供給に資するとともにEU等への積極的な輸出促進を図るため，岸壁等の整備による衛生管理の推進や，防波堤の整備による越波防止などの安全対策を水産環境に配慮しつつ行う.

事業内容：
〇事業量
　-3.5m岸壁(改良)　305.5m
　北防波堤(改良)　100.0m
　ほか
〇事業費　2,100百万円
〇事業主体　国（北海道開発局）
〇事業期間　H24～H30

効果の試算：
B/C＝1.65
B：3,058百万円　C：1,859百万円

〇海域別ほたて生産量(地まき)
・全国の総生産量319千トンのうち、北海道で99.5%、318千トンを生産。
・北海道のうち、約50%は網走海域で生産、同海域の生産（21漁港・2港湾）のうち直轄整備4漁港で1/5を生産（元稲府が最大水揚量を誇る）。



※図中の数字は生産量（ｔ）上段は海域全体、下段（　）内は3・4種の生産量

（出典）平成21年度北海道林水産統計年報